

令和 7 年 3 月 4 日

日野市教育委員会 殿

学校名 日野市立日野第三小学校

校長名 桐井 裕美

(公印省略)

令和 7 年度 特別支援教室の教育課程について (届)

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき、特別支援教室による指導を下記のとおりお届けいたします。

記

1 特別支援教室の教育目標

- ・児童一人一人の実態に応じた適切な指導を通して、心身ともに調和のとれた発達を促し、学校生活や社会の中で自信をもって活動できる児童を育てる。
- (1) 社会での自立を目指し、自分の課題と向き合っていくことができる。
- (2) 集中力を付けたり、視覚認知の力を高めたり、手指の巧緻性を高めたりする課題を行い、一人一人が認知面での苦手さを克服することができる。

2 教育目標を達成するための基本方針

- ・児童の発達段階や障害の状態に応じて、小集団指導と個別指導を適切に組み合わせる。また、指導を効果的に行うため、教材・教具の工夫をする。
- ・児童の実態に合わせて、かしのきシート、個別指導計画、連携プランを作成し、保護者、在籍学級担任と共通の認識をもち指導と評価を行う。
- ・自立活動を中心に児童一人一人が自立を目指し、自分の課題に気づき、改善できるよう指導を行う。

3 指導の重点

- ・心理的、情緒的な安定を図り、感情や行動を状況に応じてコントロールできるように支援し、集団活動に参加するための技能・態度を養う。
- ・周囲の状況や相手の気持ちを理解し、意思を適切に伝える方法を習得し、コミュニケーション能力や自己表現力を高める。
- ・粗大運動・微細運動など日常の学習で身に付けたことを活用することで社会性の向上や生活経験の拡大を図る。

4 その他の配慮事項

- ・指導時間は、週 1 回 2 時間を基本とし、児童の発達段階や障害の状況に応じて指導日・指導時間を決める。
- ・在籍学級担任及び保護者と連絡帳・面談・個別指導計画・教室公開・教室だより等を通じて指導理解を深め、共通理解を図る。
- ・医療・心理諸機関、日野市発達・教育センター、市内特別支援学級、特別支援学校、就学前施設等との連携を深め、支援体制をつくる。
- ・かしのきシート、個別指導計画、連携プランを作成して目標を明確にし、当初に立てた目標が達成されているかを校内支援委員会で確認しながら指導を進め、1 年での退室を目指す。